

## 自社グループ／取引先のセキュリティリスクを定量的に可視化 攻撃されにくい環境の維持を実現

診断に必要なのは、ドメイン名を入れるだけ

XXXXX.com/.jp/co.jp

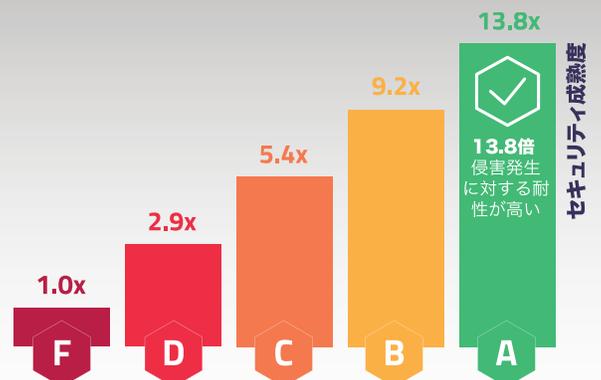
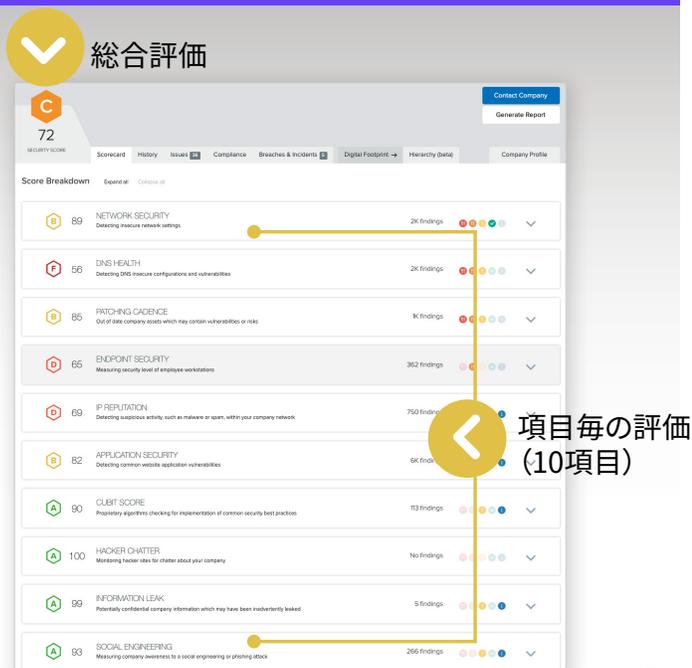


■ 攻撃者視点で収集した情報から、  
総合評価／10項目について、  
5段階／100点満点でスコアリング

■ 侵害される可能性の相関関係が  
あるスコア

各スコアの根拠は、項目毎にドリル  
ダウンして詳細を確認可能。

約3年の遡り調査の結果、F評価の企業は、  
A評価の企業より **13.8倍** 攻撃を受ける可能性が  
あることが確認されています。



自社／サプライチェーンのサイバーセキュリティ  
状況を把握し、よりよいスコアを維持し続ける  
ことで、サイバー攻撃を受ける可能性を低減する  
ことが可能です。

# 企業の皆様が抱える課題

- ❓ 自社のセキュリティ状況はどうなってる？

---

- ❓ 同業他社と比べてどうなのか？

---

- ❓ グループ会社／取引先含めたサプライチェーン全体となるとなおさら難しい…

---

- ❓ 脆弱性調査は年に一度行っているが、それでいいのか？

## SecurityScorecardの特徴

### ■ 自社グループ／取引先のセキュリティ状況を5段階 (A,B,C,D,F)／100点満点で評価

- 総合評価と10項目毎の評価を提示
- セキュリティ状況を具体的なスコアで把握／共有でき、経営陣／取引先との目標設定にも利用可能



### ■ 攻撃者視点で、非侵入で外部から得られる情報から迅速にスコアリング

- 攻撃者が攻撃前に行う初期調査で収集する情報を、システムに過度な負荷をかけることなく収集
- スコアの変動を迅速に把握し必要な対応を取る事により、脆弱な期間を短くすることが可能

### ■ 競合や取引先のスコアも確認可能

5 companies	自社	競合A	子会社A	取引先A	取引先B
Print to PDF	B 88	A 90	B 80	C 79	D 63
<b>FACTORS</b>					
Network Security	C 70	D 68	C 79	C 77	D 66
DNS Health	A 91	A 90	A 91	A 92	D 65
Patching Cadence	A 91	B 85	B 82	B 87	D 69
Endpoint Security	A 100	A 100	A 100	D 63	D 43
IP Reputation	A 100				
Application Security	C 75	A 91	D 51	B 84	D 67
Cubit Score	A 100	A 100	A 90	A 100	A 100
Hacker Chatter	A 100				
Information Leak	A 100				
Social Engineering	A 100				

### ■ レポートは日本語でも作成可能



サマリーレポート・詳細レポートは、日本語・英語・ドイツ語・フランス語・中国語で作成可能

## SecurityScorecardの活用例



### 自社グループのセルフチェック

国内／海外の自社グループドメインのセキュリティ状況把握に活用



### ベンダーリスクマネジメント

取引先含めたサプライチェーン全体のセキュリティ状況把握に活用



### 経営陣向けのレポート

具体的な定量評価を使って、自社グループや取引先のセキュリティ状況報告に活用



### サイバーデューデリジェンス

企業買収時や団体加盟企業のサイバーセキュリティ信用調査に活用